

事業カルテ (元年度決算)

ごみ対策課

04-02-02-412

ごみ減量化推進事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律 多摩市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち				
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり			
	施策	3	資源循環社会の構築			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市みどり環境基本計画 多摩市一般廃棄物処理基本計画					
関連する報告書など	多摩市の環境(多摩市みどり環境基本計画年次報告書)・清掃事業実績					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成6年度にごみ減量啓発事業を重点事業とし、「ごみ減量化推進事業」として開始した。事業予算の大半を占める資源集団回収補助金は、昭和56年4月に開始以降、回収量・実施団体数の増加に努める一方、補助金単価の見直しも適時実施している。平成25年度から新たな一般廃棄物処理基本計画をスタートさせ、ごみ排出量の10%削減(23年度実績比)を「ごみ減量目標」のひとつとして掲げている。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	令和元年度の「ごみ減量目標」は、家庭系・事業系とも23年度実績と比較して7%の減量である。目標達成に向けて、着実な減量と資源化を進めるための周知・啓発事業等を展開する。令和2年1月より家庭系可燃ごみの「生ごみ」減量を目的とした生ごみ処理機器の普及促進のため、ダンボールコンポストをはじめとする生ごみ処理機器等の補助金を交付している者に「生ごみ入れません袋」を無料で配付した。
予算の執行方法	1 資源化推進(①資源集団回収補助金・業者助成金②機密文書溶解処理リサイクル業務委託 等) 2 市民協働推進(①廃棄物減量等推進員謝礼②転入者ごみ分別説明業務委託 等) 3 啓発事業(①啓発情報紙作成②啓発情報紙配布業務委託③ごみ分別アプリ運用支援業務委託 等) 4 生ごみ対策(①生ごみ処理機器購入費補助金②ごみ減量等講習会謝礼 等)
事業の成果	(多摩市一般廃棄物処理基本計画に定めるごみ減量目標に対する実績) ・ごみ排出量(可燃・不燃・粗大・有害性)は平成23年度比10.9%減少(計画期間7年目の目標は7%減) ・資源化率は33.8%(目標は40%) ・焼却残渣埋立量は0t(目標は「ゼロに近づける」)

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額(単位:千円)	52,154 千円	49,814 千円	54,215 千円	51,567 千円	50,618 千円
事業にかかる実コスト	94,772 千円	92,597 千円	95,410 千円	91,061 千円	91,361 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	1,490 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	296 千円	0 千円
	一般財源	50,664 千円	49,814 千円	53,919 千円	51,567 千円
間接経費					
職員人件費	37,462 千円	37,014 千円	35,252 千円	33,602 千円	
《従事人員数》	4.00 人	4.00 人	4.00 人	4.00 人	
その他の人件費	5,156 千円	5,769 千円	5,943 千円	5,892 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	市民1人1日あたりのごみ量	目標	614.8g	608.3g	601.7g
		結果	577.7g	582.5g	—
成果指標 (アウトカム)	市民1人1日あたりのごみ量の平成23年度と比較しての減量率	目標	-6.0%	-7.0%	-8.0%
		結果	-11.7%	-10.9%	—

特記事項

—

◇自己点検

の成果 推移 指標	今後の見通し	方今 向後 性の	今後の課題や方向性に関するコメント	
	量的 的		財一 源般	食品ロス対策を含め家庭系ごみの資源分別等のきめ細かな啓発、事業系ごみの排出指導の徹底、また、廃プラスチックごみの発生抑制などを、廃棄物減量等推進員を中心とした地域住民との連携により取り組んでいく。
A	B	B	ウ	

<ごみ減量化推進事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 資源集団回収事業

(1) 資源集団回収 実施団体回収状況 (kg)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
回収品目	新聞	2,129,096	1,935,461	1,780,233	1,632,690	1,457,475
	雑誌	1,249,647	1,226,410	1,195,792	1,170,390	1,163,542
	ダンボール	591,856	586,139	563,890	572,747	585,256
	紙パック	20,007	19,771	20,668	19,872	20,957
	古せんい	238,486	224,786	223,153	218,117	231,131
	アルミ缶	72,732	77,511	80,596	83,093	83,327
	スチール缶	16,994	16,688	16,263	15,883	13,778
	びん	215	136	214	281	0
	ペットボトル	47,467	49,079	18,046	19,559	8,565
合計(kg)	4,366,500	4,135,981	3,898,855	3,732,632	3,564,031	
補助単価(円)	8円/kg	8円/kg	8円/kg	8円/kg	8円/kg	
補助金額(円)	34,932,000	33,082,008	31,143,720	29,853,056	28,502,568	
登録団体	234団体	234団体	234団体	233団体	232団体	

(2) 資源集団回収 回収業者助成状況 (kg)

		平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
回収品目	新聞	2,129,096	1,935,461	1,780,233	1,632,690	1,457,475
	雑誌	1,249,647	1,226,410	1,195,792	1,170,390	1,163,542
	ダンボール	591,856	586,139	563,890	572,747	585,256
	紙パック	20,007	19,771	20,668	19,872	20,957
	古せんい	238,486	224,786	223,153	218,117	231,131
	スチール缶	16,994	16,688	16,263	15,883	13,778
	びん	215	136	214	281	0
合計(kg)	4,246,301	4,009,391	3,800,213	3,629,980	3,472,139	
助成金単価(円)	2円/kg	2円/kg	2円/kg	2円/kg	2円/kg	
助成金額(円)	1,745,638	1,668,627	1,643,505	6,761,660	6,528,558	
登録(申請)業者	12(10)業者	12(10)業者	12(10)業者	11(10)業者	11(10)業者	

2 生ごみ処理機器購入費補助事業

単位：円

	平成27年度	
	基数	補助金額
一部埋設型	17	80,900
室内ベランダ型	3	12,000
非電動型	23	32,200
合計	43	125,100

	平成28年度		平成29年度	
	基(個)数	補助金額	基(個)数	補助金額
一部埋設型	7	26,100	0	0
非電動型	7	18,100	4	7,800
ダンボールコンポスト	17	19,600	26	29,400
消耗品	51	24,000	83	31,600
合計	82	87,800	113	68,800

	平成30年度		令和元年度	
	基(個)数	補助金額	基(個)数	補助金額
一部埋設型	7	20,500	0	0
非電動型	6	11,400	6	11,300
ダンボールコンポスト	17	17,600	48	52,100
消耗品	60	22,200	61	21,100
合計	90	71,700	115	84,500

※28年度以降、あっせんの廃止・消耗品の補助を開始

ダンボールコンポストの補助基数変更

※令和元年度より、交付対象者が団体の場合の、補助限度基数及び補助限度額を新たに設定

3 廃棄物減量等推進員関係事業

設置目的	ごみの減量及び適正な処理等のため、市の施策への協力や地域住民への啓発活動等おこなう。	
委嘱者数		214 人
支払件数		208 件
報償費		2,050,000 円
主な活動	<p>4月 推進員選出準備・推薦引継ぎ等</p> <p>5月 ごみゼロ(530)デー駅頭キャンペーンへの参加</p> <p>6月 第1回推進員全体会議</p> <p>7月 (地域での減量啓発活動等)</p> <p>8月 (地域での減量啓発活動等)</p> <p>9月 清掃施設見学会(多摩清掃工場・二ツ塚廃棄物広域処分場)</p> <p>10月 (地域での減量啓発活動等)</p> <p>11月 研修会「認知症サポーター養成講座」</p> <p>12月 (地域での減量啓発活動等)</p> <p>1月 (地域での減量啓発活動等)</p> <p>2月 ブロック会議(全5ブロック)</p> <p>3月 (地域での減量啓発活動等)</p>	

4 ごみ減量啓発紙「ACTA」作成業務委託実績

単位:円

年度	No	発行部数	主な内容	作成委託料
27	57	-	みどりのリサイクル特集 (たま広報折込記事)	2,187,000
	58	90,000	環境にやさしい循環型のまちたま「ごみ・資源収集カレンダー」との合冊	
28	59	-	ごみ減量の第一歩！～正しい分別と資源化～できることから始めましょう (たま広報折込記事)	2,361,960
	60	90,000	平成29年4月からダウンジャケット・革ジャンパーが「古布」として出せるようになります「ごみ・資源収集カレンダー」との合冊	
29	61	-	「食品ロス」の削減にむけて～合言葉は“もったいない” (たま広報折込記事)	2,733,480
	62	90,000	多摩市ごみ分別アプリ配信中！「ごみ・資源収集カレンダー」との合冊	
30	63	-	エコプラザ多摩に搬入される資源～分別のルールを再確認しましょう～・・・たま広報折込み記事	2,361,960
	64	90,000	多摩市ごみ分別アプリ「さんあーる多摩市版」「ごみ・資源収集カレンダー」との合冊	
元	65	-	プラスチックごみのおはなし～身近な取り組みからはじめましょう～(たま広報折込記事)	3,659,040
	66	90,000	多摩市ごみ分別アプリ「さんあーる多摩市版」、「家庭ごみ組成分析結果」と「ごみ資源収集カレンダー」との合冊 ページ数を増やし、内容の充実をさせた。	

04-02-02-413 資源化センター管理運営事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、多摩市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち				
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり			
	施策	3	資源循環社会の構築			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市みどり環境基本計画、多摩市一般廃棄物処理基本計画					
関連する報告書など	多摩市の環境(多摩市みどり環境基本計画年次報告書)・清掃事業実績					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	資源化センターは、容器包装リサイクル法等に基づく中間処理施設として、平成11年10月1日にオープンした。平成19年度にプラスチック処理施設の新設及び古紙処理機器の能力アップ改修工事を行い、平成20年4月からプラスチックの中間処理を開始した。また、安定的且つ円滑な処理を持続するため、長期修繕計画に基づいたプラントの修繕(予防保全)を計画的に実施するとともに、老朽化したプラント設備等及び建築設備等の更新を実施していく。					

◇令和元年度の事業の実施内容

	事業開始の時期	平成13年度以前
事業の目的、 令和元年度の目標	容器包装リサイクル法に基づき、容器包装廃棄物を分別収集し、資源循環型社会の形成を図るため、引き続き安定的且つ円滑に資源化を進めていく。令和元年度(平成31年度)は、剪定枝の資源化拡大を引き続き行なうとともに、プラント設備の点検補修等を計画的に行う。また、老朽化したプラント設備については、草枝プラント設備等及び缶・ペットプラント設備等の改修工事を実施する。老朽化した建築設備については、ストックマネジメント計画に基づき令和元年度(平成31年度)は空調設備、電気設備、給排水衛生設備の改修工事を実施する。	
予算の執行方法	資源物の選別・保管・搬出については、業務委託にて実施する。平成23年度からは、施設プラントの保守点検等の業務委託についても、資源物選別等業務受託者に業務を委託し、より効率的な予算の執行を行なう。また、プラント設備改修工事、建築設備改修工事を効率的に進め、適切な予算の執行を行う。	
事業の成果	プラント設備改修工事及び、設備改修工事等を計画的に進めることにより、安定的且つ円滑に資源化を実施し、最終処分場への焼却残渣(ごみの量)の量を減らす。	

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額(単位:千円)	326,165 千円	342,145 千円	337,969 千円	477,610 千円	912,238 千円
事業にかかる実コスト	342,087 千円	353,712 千円	351,188 千円	490,211 千円	925,112 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	3,650 千円	3,704 千円	3,668 千円	3,729 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	31 千円	27 千円	28 千円	32 千円
	一般財源	322,484 千円	338,414 千円	334,273 千円	473,849 千円
	間接経費				
職員人件費	15,922 千円	11,567 千円	13,219 千円	12,601 千円	
《従事人員数》	1.70 人	1.25 人	1.50 人	1.50 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	収集された資源ごみを種別ごとに選別処理し、資源としての効率的な利用を促進する中間処理の実施。	目標	7,823t	7,966t	8,206t
		結果	6,257t	6,261t	—
成果指標 (アウトカム)	収集資源ごみの再利用資源への適正な選別、中間処理の実施を行い、資源化率を高める(令和元年度実績:資源化率=排出量6,261t/搬入量6,437t)	目標	100%	100%	100%
		結果	98.15%	97.27%	—

特記事項	プラント設備更新及び建築設備更新等の財源について、都市計画税の充当が可能であるため、平成29年12月21日、東京都へ事業認可申請を行なった。また、平成30年度よりプラント設備の更新工事を開始するとともに、老朽化した建築設備の更新を令和元年度(平成31年度)に実施した。
------	--

◇自己点検

の 成果 推 移 指 標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	B	B	イ	本施設は、多摩市内唯一の資源化施設であることから、施設稼働を止めることはできない。安定的且つ円滑な資源化を推進するため、プラント設備長期修繕計画及びストックマネジメント計画を基に、着実に保全を実施する。

<資源化センター管理運営事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 びん・缶・剪定枝等の資源化

- (1) 平成11年10月より多摩市立資源化センターにて、分別排出されたびんや缶などの資源を選別・圧縮・梱包・保管し、再生業者に引き渡し資源化している。市内公共施設から発生する剪定枝は土壌改良材にして資源化した。

また新たに平成20年度より、プラスチックの資源化を開始した。

(2)資源化実績

(単位：t)

種別		年度				
		27	28	29	30	元
缶類	アルミ缶	190.42	193.34	193.51	178.40	205.36
	スチール缶	150.81	144.15	150.54	129.29	135.87
びん類	無色カレット	522.00	536.42	503.49	479.99	460.14
	茶色カレット	227.25	217.55	207.26	194.51	197.12
	緑色カレット	66.35	57.99	59.22	55.44	73.94
	その他カレット	239.65	243.10	254.66	227.98	223.77
	生きびん	89.01	72.93	75.29	63.57	59.94
	ペットボトル	459.33	473.19	499.52	526.39	537.02
	トレイ	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
古紙類	新聞	377.29	327.95	291.87	277.98	243.31
	雑誌	1,923.95	1,749.16	1,730.85	1,790.77	1,713.72
	段ボール	866.15	846.56	871.41	873.78	886.09
	紙バック	2.91	0.00	2.31	2.29	0.00
	古布	363.08	330.30	331.05	336.04	359.77
	剪定枝	110.02	89.71	168.57	139.77	142.10
	プラスチック(製品)	43.52	49.97	38.46	27.71	46.46
	プラスチック(容器)	911.84	920.79	947.39	953.54	975.63
	金属類	0.00	0.00	0.00	0.22	1.04
合計		6,543.58	6,253.11	6,325.40	6,257.67	6,261.28

(3) 資源物売払決算額

(単位：円)

種別		年度				
		27	28	29	30	元
缶類	アルミ缶	24,429,304	21,980,476	27,168,835	21,289,012	19,670,937
	スチール缶	1,829,591	1,980,607	3,401,026	3,166,715	2,044,725
	生きびん	308,202	244,216	266,296	213,434	208,940
	ペットボトル	13,123,009	11,740,596	20,832,698	20,184,087	27,094,478
古紙類	新聞	5,860,726	5,608,563	5,998,084	5,789,215	3,907,823
	雑誌	25,680,873	25,615,048	24,904,082	24,218,673	23,079,599
	段ボール	12,274,717	12,892,392	15,581,789	16,379,402	14,653,429
	紙バック	40,306	0	31,995	31,718	0
	古布	7,450,397	4,066,647	3,739,867	3,447,765	3,723,832
	プラスチック(製品)	423,551	266,184	208,093	108,542	50,878
	剪定枝	0	0	0	0	0
	金属類				18,673	5,225
合計		91,420,676	84,394,729	102,132,765	94,847,236	94,439,866

※資源化実績に記載されている資源物のうち、カレット（無色・茶色・緑色・その他）、ペットボトル、プラスチック（容器）については、財団法人日本容器包装リサイクル協会に委託料を支払って資源化している。

なお、ペットボトルについては有償で引き取られ、上記財団法人から拠出金の支払がある。

(ペットボトル有償入札拠出受入金。平成18年度より開始。)

2 多摩市立資源化センター施設管理経費

(円)

年 度	主な経費合計	経費内訳		
		需用費（光熱水費、修繕料等）	役務費（電話料、保険料等）	委託費（保守点検委託料、業務委託料）
27	222,782,096	18,209,886	1,668,779	202,903,431
28	248,434,247	17,406,484	1,659,709	229,368,054
29	254,206,165	18,683,703	1,697,680	233,824,782
30	261,147,767	19,700,075	1,639,533	239,808,159
元	269,067,730	17,612,087	1,667,310	249,788,333

3 委託費の内訳

(円)

年 度	設備・機器保守点検委託料(交換機等保守点検委託)	業務委託料	
		施設運転管理業務委託 (資源物選別等管理運営業務委託・びん類選別等業務委託・草枝資源化業務委託)	その他 (日常清掃業務委託、緑地等管理業務委託 他)
27	430,272	194,877,135	7,596,024
28	461,376	195,157,248	33,749,430
29	461,376	195,934,174	37,429,232
30	461,376	196,466,840	42,879,943
元	465,648	197,736,610	51,586,075

※平成28～元年度は修繕計画等に基づく整備（資源化センタープラント設備整備等業務委託等）を含む。

4 修繕計画等に基づく整備等

(円)

年度	件名	金額	内容
27	資源化センタープラント設備維持補修工事	14,325,968	主な点検整備 缶類・ペットボトルライン：手選別コンベアベルト等消耗品交換。磁力選別機ベルト等消耗品交換。アルミ選別機コンベアベルト等消耗品交換。古紙類ライン：コンベアベルト等消耗品交換。その他点検調整。
28	資源化センタープラント設備整備等業務委託	25,812,000	主な点検整備 びん類ライン：点検調整。缶・ペットライン：パッキン類交換整備、作動油交換等。調整整備。古紙類ライン：ダンパー交換、コンベチェーン交換。プラスチック類ライン：コンベアベルト交換、作動油交換等消耗品交換。集じん設備：モーター交換、軸受け交換。その他点検整備。
29	資源化センタープラント設備整備等業務委託	20,736,000	主な点検整備 びん類ライン：点検調整、各種コンベアのローラー等消耗品交換。缶・ペットライン：点検整備、各種コンベアのローラー等消耗品交換、圧縮装置、減容機ゲートシリンダー等消耗品交換。古紙類ライン：圧縮梱包機点検整備、ダンパー交換及びシリンダー等交換。プラスチック類ライン：コンベアのローラー等消耗品交換、圧縮梱包機消耗品交換。草枝選定ライン：バーナー点検整備。集じん設備：Vベルト等消耗品交換。その他点検整備：空気圧縮装置更新
	多摩市立資源化センタープラント設備等更新工事発注支援業務委託	8,348,400	プラント設備更新に係わる仕様書作成、見積設計書作成、東京都事業認可申請に係わる資料作成等。

30	平成30年度多摩市立資源化センタープラント設備整備等改修工事	133,272,000	<p>工事概要（びんライン改修工事）</p> <p>①受入供給設備 更新工事：ケース自動供給装置・ケース自動反転装置・供給フィーダ・ケース自動洗浄装置・ケース搬出装置 撤去工事：破びん搬送コンベヤ・ヤード投入コンベヤ</p> <p>②搬送設備 各種搬送コンベヤ更新・残渣搬送設備更新</p> <p>③選別設備 手選別コンベヤ更新・各種自動選別設備撤去</p>
	平成30年度多摩市立資源化センタープラント設備整備等改修工事監理業務委託	10,314,000	びんライン改修工事に伴う監理業務委託
	資源化センタープラント設備整備等業務委託	9,239,400	<p>主な点検整備</p> <p>①缶・ペットライン：点検整備、各種コンベヤのローラー等消耗品交換、磁力選別機・アルミ選別機目視点検、圧縮装置・減容機ゲートシリンダー等消耗品交換。</p> <p>②古紙類ライン：各種コンベヤ目視点検、圧縮梱包機油圧ユニット油漏れたい策、主油圧シリンダーパッキン類交換及び点検整備。</p> <p>③プラスチック類ライン：コンベアのローラー等消耗品交換、圧縮梱包機消耗品交換。</p> <p>④集じん設備・その他：点検整備。</p>
	資源化センター建築設備等改修工事実施設計業務委託	14,365,512	経年劣化に伴う建築設備の更新工事設計 設計概要 電気設備・空調設備・給排水衛生設備の更新工事
元	平成31年度多摩市立資源化センター草枝プラント設備等改修工事	147,960,000	<ul style="list-style-type: none"> ・大型破砕機の更新工事 ・搬出コンベアの更新及びチップヤードの整備 ・脱臭装置・発酵装置の整備及び部品交換
	平成31年度多摩市立資源化センター草枝プラント設備等改修工事監理業務委託	9,936,000	草枝プラント設備改修工事に伴う監理業務委託
	平成31年度多摩市立資源化センター缶・ペットボトルプラント設備等改修工事	149,600,000	<ul style="list-style-type: none"> ・受入コンベア、選別コンベア、ペットボトル選別コンベアの更新工事 ・ペットボトル減容機の更新 ・アルミ選別機、磁選機等の点検整備
	平成31年度多摩市立資源化センター缶・ペットボトルプラント設備等改修工事監理業務委託	10,010,000	缶・ペットボトルプラント設備改修工事に伴う監理業務委託
	令和元年度資源化センタープラント設備整備等業務委託	11,572,000	各種ラインの定期点検・動作確認及び消耗品交換等 ・古紙ライン・プラ類ライン・草枝選定枝ライン ・集塵設備
	資源化センター電気設備改修工事	130,748,900	老朽化した、電気設備の全般的改修工事 ・受変電・風力発電・照明・コンセント・電気時計・トイレ呼び出し表示・拡声設備・自動火災報知設備等

元	資源化センター空気調和設備改修工事	101,620,400	老朽化した、空気調和設備の全般的改修工事 ・空気調和設備・換気設備・自動制御設備・動力設備工事等
	資源化センター給排水設備改修工事	28,758,100	老朽化した、給排水設備の全般的改修工事 ・衛生器具設備・給排水設備・給湯設備・消火設備・ガス設備工事等
	資源化センター設備改修工事監理業務委託	11,204,100	資源化センター設備改修工事に伴う監理業務委託
	エコプラザ多摩玄関屋根防水工事	1,298,000	エコプラザ多摩・草枝棟玄関屋根の雨漏り補修のための防水工事

5 エコプラザ多摩連絡協議会実績

開催回数	委員数	委員の構成			
1回	7人	市内自治会代表	3人	はるひ野町内会	1人
		隣接小中PTA	1人	多摩市職員	1人
		多摩市民環境会議	1人		

※エコプラザ多摩協議会は、平成28年度より名称を「エコプラザ多摩**連絡**協議会」とし、新たに要項を設置。“情報交換の場”と、あり方を変えた。

協議会内容		
多摩市立資源化センターの安全対策及び周辺環境の適正維持に関し、市と周辺自治会等とが協議及び情報交換を行う		
回数	開催日	主な議事内容
第1回	令和元年12月10日	1. 令和元年度大気環境測定調査結果等の報告 2. エコプラザ多摩施設管理報告について 3. 平成30年度資源化実績について

04-02-02-414 収集機材管理事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、多摩市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち				
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり			
	施策	3	資源循環社会の構築			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市みどり環境基本計画、多摩市一般廃棄物処理基本計画					
関連する報告書など	多摩市の環境(多摩市みどり環境基本計画年次報告書)・清掃事業実績					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	平成12年度のダストボックス収集廃止に伴い、資源収集を推進するため、資源収集容器の管理、パトロール車両の管理等、個別収集開始のための器材管理を行っている。集合住宅集積所へ資源容器を設置し、衛生環境向上と資源化を、また、個別収集地域を中心にリサイクルボックスを設置し、資源化を推進してきた。資源容器に関しては、使用頻度により老朽化が進むことから、購入計画を策定し順次交換を進めている。また、リサイクルボックスに関しては、平成24年9月末で廃止した。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期 平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	機材を活用し、ごみの減量化・資源化を図り、資源の出しやすい環境づくりに取り組む。また、多摩市内のごみ排出等について日々排出指導等をする為に使用している清掃軽ダンプ車両の適切な管理を行う。
予算の執行方法	常設の資源容器等について、平成12年の導入から18年が経過し、当時購入した約3000個の容器の老朽化が進んでいるため、平成22年度から資源容器の5か年の購入計画を立て執行し、それを基に進めている計画内容を引き継ぎ、計画的に購入し適切な管理を行った。
事業の成果	資源容器を設置し、資源が出しやすい環境をつくり、清掃軽ダンプ車両による必要な市内排出指導等を行うことにより、市民がごみの中から資源の分別を進めた。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
決算額(単位:千円)	7,184 千円	3,916 千円	12,261 千円	6,672 千円	3,293 千円
事業にかかる実コスト	11,867 千円	8,543 千円	17,549 千円	11,712 千円	7,584 千円
内 訳	直接経費				
	国庫支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	一般財源	7,184 千円	3,916 千円	12,261 千円	6,672 千円
	間接経費				
職員人件費	4,683 千円	4,627 千円	5,288 千円	5,040 千円	
《従事人員数》	0.50 人	0.50 人	0.60 人	0.60 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	市民のごみ減量・資源化を推進するため、資源容器等の管理を適正に進める(市内集積所数)	目標	2,403ヶ所	2,052ヶ所	2,519ヶ所
		結果	2,519ヶ所	2,541ヶ所	—
成果指標 (アウトカム)	資源容器等を利用することにより、ごみ減量資源化を進める(資源排出量)	目標	7,445t	7,546t	7,715t
		結果	6,411t	6,288t	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成 果 指 標 の 推 移	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	二 量 的 的	財 一 源 般		
B	B	B	イ	平成12年10月のダストボックス廃止時から18年以上経過し、当時設置した大量の資源容器の老朽化が一斉に進行することが懸念される。現在、令和元年度以降についても見直しを行った購入計画を基に進めているが、今後も状況により計画見直しを行い適切な管理を進める。

<収集機材管理事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 収集機材管理実績

(1) 集積所管理実績 (ヶ所)

年度	集合住宅用	宅地分譲地内	袋小路等用
27	2253	76	130
28	2288	67	130
29	2305	67	130
30	2322	67	130
元	2344	67	130

(2) 収集容器購入実績 (円)

年度	資源収集ケース(びん用)		資源収集ケース(缶・ペットボトル用)		有害性ごみ収集ケース	
	購入数	購入額	購入数	購入額	購入数	購入額
27	120	274,752	255	2,258,280	0	0
28	120	274,752	255	2,258,280	0	0
29	120	274,752	255	2,258,280	0	0
30	120	274,752	255	2,258,280	0	0
元	0	0	255	2,258,280	0	0

(3) 旧管路収集埋設配管業務委託内訳 (円)

内容	年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
	旧管路収集埋設配管実施設計		3,553,200円	—	—	—
旧管路収集埋設配管調査業務		—	—	—	2,268,000円	—

※平成17年3月 管路収集の終了

※平成24年3月 管路施設の廃止

2 旧ダストボックス置場給排水撤去工事実績

年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
工事件数	0件	1件	9件	1件	0件
工事費用	0円	572,173円	8,665,488円	766,800円	0円

3 多摩市内事業所排出実態状況

ア 事業系ごみ有料指定袋購入事業所数

(事業系一般廃棄物処理依頼書の控えより算出) 461 事業所 (令和2年3月31日現在)

イ 事業所排出実態状況

(事業所台帳システム等より算出)

(件)

処理種別	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度
市収集(指定袋購入)	386	383	412	422	461
業者処理(一廃・産廃)	639	665	660	633	629
食品リサイクル	47	47	39	48	49
合計	1,025	1,048	1,072	1,055	1,090

4 現場作業及び排出作業状況

(件)

作業事務	27年度	28年度	29年度	30年度	元年度	
パトロール稼働日数(日)	241	238	234	235	256	
不法投棄パトロール対応件数	736	966	811	931	1382	
不法投棄ごみ収集・処理	197	260	208	240	179	
警告/注意シール・ステッカー貼	539	706	603	691	1186	
家電4品目注意シール貼	47	44	42	32	46	
家電4品目回収	TV	7	9	9	8	0
	冷蔵庫	4	4	6	1	0
	洗濯機	0	1	3	1	0
	エアコン	1	0	0	0	0
バッテリー・消火器回収	消火器	0	0	0	0	0
	バッテリー	1	1	0	0	0
相談・苦情、対応・処理件数	862	790	806	601	348	
収集もれ対応(直営対応)	730	673	610	474	218	
資源容器関係	66	48	130	112	127	
戸別訪問指導(ホステイング)	14	6	10	0	2	
不法投棄等対応	27	30	29	12	6	
注意看板作成・設置	3	7	4	3	1	
分別読本カレンダー配布	22	26	24	20	0	
事業系ごみ排出指導件数	5	0	1	0	0	
その他対応件数	19	45	66	66	46	

04-02-03-420

し尿処理事業

◇事業の位置づけ等

事務の種類	自治事務	基礎となる法令	廃棄物の処理及び清掃に関する法律、多摩市廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例			
第五次総合計画 基本計画体系	目指すまちの姿	人・自然・地球 みんなで環境を大切にすまち				
	政策	F1	地球と人にやさしい持続可能なまちづくり			
	施策	3	資源循環社会の構築			
	関連する施策	-	-	-	-	-
関連する個別計画	多摩市みどり環境基本計画、多摩市一般廃棄物処理基本計画					
関連する報告書など	多摩市の環境(多摩市みどり環境基本計画年次報告書)・清掃事業実績					
事業開始の経緯、 これまでの見直し・改善など	昭和40年に業者委託によるし尿収集を開始し、平成22年度から浄化槽清掃料金軽減措置事業を統合した。公共下水道の整備により、下水道への接続の促進を行い、利用世帯数は徐々に減少している。また、災害時の仮設トイレ等のし尿への対応も考慮し見直しを行っている。					

◇令和元年度の事業の実施内容

事業開始の時期

平成13年度以前

事業の目的、 令和元年度の目標	し尿の収集及び処理、浄化槽汚泥の処理等を適切に実施し、衛生的な生活環境を維持する。また、汲取り便所と浄化槽による水洗便所使用者との不均衡の是正を図るとともに、浄化槽の適正な維持管理を促し、生活環境の保全及び衛生の向上を図る。なお、下水道課と連携し、供用開始区域の浄化槽削減に努める。
予算の執行方法	し尿は、委託業者及び一般廃棄物収集運搬許可業者によって収集し、多摩川衛生組合し尿処理施設に運搬して処理行う。また、浄化槽清掃経費の一部軽減措置については、年度当初に市から対象者へ軽減証として浄化槽清掃確認書を送付し、対象者が清掃を実施した場合に清掃料金の一部を市が負担を行う。塵芥収集運搬委託に合せた債務負担行為による複数年契約のし尿収集運搬業務委託を行い、予算の適正な執行を行った。
事業の成果	334,250リットルのし尿・汚泥の処理を行い、衛生的な生活環境を維持した。

◇事業にかかる費用

区 分	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	
決算額(単位:千円)	16,862 千円	16,106 千円	15,769 千円	15,419 千円	16,088 千円	
事業にかかる実コスト	20,608 千円	19,807 千円	20,175 千円	19,619 千円	20,379 千円	
内 訳	直接経費					
	国庫支出金	千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	都支出金	3,671 千円	3,709 千円	3,314 千円	2,823 千円	2,401 千円
	地方債	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円
	その他特定財源	5,084 千円	4,489 千円	4,134 千円	4,288 千円	4,591 千円
	一般財源	8,107 千円	7,908 千円	8,321 千円	8,308 千円	9,096 千円
	間接経費					
職員人件費	3,746 千円	3,701 千円	4,406 千円	4,200 千円	4,291 千円	
《従事人員数》	0.40 人	0.40 人	0.50 人	0.50 人	0.50 人	
その他の人件費	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	0 千円	

◇成果指標

指標の種類	指標について		平成30年度	令和元年度	令和2年度
活動指標 (アウトプット)	適正に実施することで衛生的な生活環境を維持する(し尿汚泥処理量:ℓ)	目標	408,000ℓ	406,000ℓ	391,200ℓ
		結果	351,400ℓ	344,250ℓ	—
成果指標 (アウトカム)	し尿の収集・処理及び浄化槽汚泥の処理を行い、衛生環境を保全する	目標	71世帯及び公園等仮設トイレ	70世帯及び公園等仮設トイレ	70世帯及び公園等仮設トイレ
		結果	70世帯及び公園等仮設トイレ	70世帯及び公園等仮設トイレ	—

特記事項

—

◇自己点検

の 成果 推移 指標	今後の見通し		方 今 向 後 性 の	今後の課題や方向性に関するコメント
	量 的	財 源 般		
B	B	B	イ	し尿処理については、下水道の普及により汲み取り世帯が減少している。都内自治体全てが同様な状況であり、災害が発生した場合は、し尿汲み取り車両が不足する状況が想定される。通常時のし尿汲み取りと災害時の安定的な対応を図るため、債務負担行為による複数年契約を締結している。

<し尿処理事業>

◇ 執行状況及び成果等

1 業務委託別実績

内容		年度						
		27	28	29	30	元		
し尿収集 運搬業務 委託	決算額 (円)		8,553,600	8,553,600	8,553,600	7,698,348	7,769,632	
	収 集 量 (リットル)	一般家庭	58,710	47,220	40,300	34,500	25,700	
		特別世帯	460	260	0	0	200	
		その他	109,200	110,400	115,700	109,200	106,500	
合計		168,370	157,880	156,000	143,700	132,400		
し尿処理 委託	決算額 (円)		8,252,000	7,497,600	7,158,000	7,665,200	8,262,000	
	搬 入 量 (リットル)	生し尿	市委託収集分	168,370	157,880	156,000	143,700	132,400
			許可業者搬入分	126,430	111,500	97,000	93,400	84,100
		合計	294,800	269,380	253,000	237,100	216,500	
	汚泥	単独浄化槽 (確認有)	1,000	13,000	6,500	13,000	13,000	
		単独浄化槽 (確認無)	59,200	49,800	54,500	54,500	62,300	
		合併	11,500	6,000	20,500	15,000	18,500	
		貯留層	37,100	36,700	23,400	31,800	33,950	
		合計	117,800	105,500	104,900	114,300	127,500	
	家庭雑排水	軽減措置 (有)	0	0	0	0	0	
軽減措置 (無)		0	0	0	0	0		
合計		0	0	0	0	0		
搬入量合計		412,600	374,880	357,900	351,400	344,250		
し尿処理 手数料収 納事務委 託	決算額 (円)		31,266	29,322	21,708	20,034	20,448	
	徴収事務受託者数 (3月31日現在) (件)		11	9	10	6	5	

2 手数料

内容		年度					
		27	28	29	30	元	
し尿処理 手数料	決算額 (円)		5,081,570	4,493,820	4,106,750	4,290,400	4,565,350
	内 訳 (円)	一般家庭	423,930	405,500	328,750	282,000	244,750
		特別世帯	23,040	8,320	0	0	7,200
		許可	4,634,600	4,080,000	3,778,000	4,008,400	4,313,400
浄化槽清 掃業許可 申請手 数料	決算額 (円)		20,000	0	30,000	0	30,000
	申請件数 (@10,000円)		2	0	3	0	3
	業者数 (3月31日現在)		2	2	2	3	3

3 浄化槽等設置状況（3月31日現在）

※設置数は、一般世帯と事業所の合計値

(1) 有料世帯

年度	単独				合併浄化槽	
	バッキ式		腐敗式		設置数	人口
	設置数	人口	設置数	人口		
27	64	159	10	5	0	0
28	64	159	10	5	0	0
29	64	159	10	5	1	19
30	63	159	10	5	2	20
元	63	159	10	5	1	19

(2) 無料世帯

年度	単独				合併浄化槽	
	バッキ式		腐敗式		設置数	人口
	設置数	人口	設置数	人口		
27	7	9	1	1	1	0
28	7	9	1	1	1	0
29	6	7	1	0	2	2
30	6	7	1	0	2	2
元	6	7	1	0	2	2

(3) 合計世帯

年度	単独				合併浄化槽	
	バッキ式		腐敗式		設置数	人口
	設置数	人口	設置数	人口		
27	71	168	11	6	1	0
28	71	168	11	6	1	0
29	70	166	11	5	3	21
30	69	166	11	5	4	22
元	69	166	11	5	3	21

4 浄化槽清掃料金軽減措置状況

(1) 軽減対象件数

(件)

年度	単独		合併浄化槽
	バッキ式	腐敗式	
27	1	1	0
28	1	1	0
29	2	1	0
30	2	1	0
元	2	1	0

(2) 軽減実績件数（延べ）

(件)

年度	単独		合併浄化槽
	バッキ式	腐敗式	
27	1	1	0
28	1	1	0
29	2	1	0
30	2	1	0
元	2	1	0

(3) 収集量

(%)

年度	単独		合併浄化槽
	バッキ式	腐敗式	
27	1,500	3,500	0
28	1,500	3,500	0
29	3,000	3,500	0
30	3,000	3,500	0
元	3,000	3,500	0

(4) 軽減措置費

(円)

年度	単独		合併浄化槽
	バッキ式	腐敗式	
27	10,070	15,340	0
28	10,070	15,340	0
29	20,140	15,340	0
30	20,140	15,340	0
元	20,140	15,340	0

5 浄化槽清掃料金軽減措置状況

		27年度	28年度	29年度	30年度	元年度
バ ツ キ 式	対象件数	1	1	2	2	2
	実施件数	1	1	2	2	2
	収集量 (ト) (%)	1,500	1,500	3,000	3,000	3,000
	軽減措置費 (円)	10,070	10,070	20,140	20,140	20,140
腐 敗 式	対象件数	1	1	1	1	1
	実施件数	1	1	1	1	1
	収集量 (ト) (%)	3,500	3,500	3,500	3,500	3,500
	軽減措置費 (円)	15,340	15,340	15,340	15,340	15,340